



KANADEN

2022年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2021年
11月9日

株式会社カナデン

1. 当社グループの概要
2. 2022年3月期 第2四半期決算概要
3. 中期経営計画ES・C2025の進捗状況
4. 2022年3月期 業績・配当予想

【ディスクレーマー】

当資料は投資家の参考に資するため、株式会社カナデン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。記載内容は、2021年11月9日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。本発表にて提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みますが、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

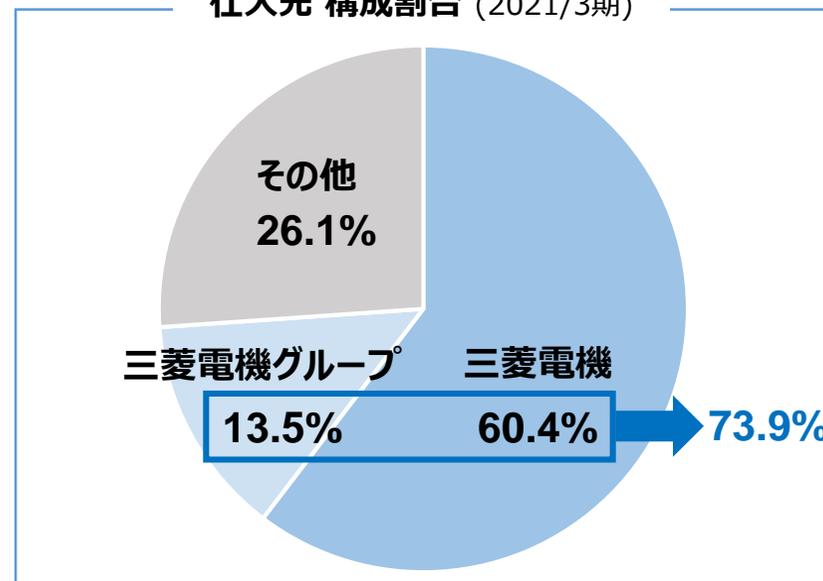
1. 当社グループの概要

KANADEN

商号	株式会社カナデン (KANADEN CORPORATION)
設立	<ul style="list-style-type: none"> ●創業：1907年 5月15日 (神奈川電気合資会社) ●設立：1912年12月18日 (神奈川電気株式会社)
本社	東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ棟
資本金	5,576百万円
株式	東京証券取引所市場第一部上場<コード:8081>
代表者	取締役社長 本橋 伸幸
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ●連結：901名 ●単体：601名 [2021年9月末]
売上高	<ul style="list-style-type: none"> ●連結：1,082億円 ●単体：1,014億円 [2021年3月期]
関係会社	<ul style="list-style-type: none"> ●子会社：11社 (国内4社、海外7社) ●関連会社：1社 ●その他の関係会社：1社 (三菱電機株式会社) [2021年9月末]

- 110年を超える歴史を有する
- エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー
- 三菱電機(株)の代理店
(FA機器、産業メカトロニクス、電子機器
昇降機設備、空調・冷熱設備、半導体・デバイス等)

仕入先 構成割合 (2021/3期)



Mission

カナデンの使命 —私たちは何のために存在しているのか—

よきものづくりに
支えられた健全な
社会の発展

私たちは
お客様の立場に立って、よきものづくりに支えられた健全で活力ある社会の発展に貢献することを
使命とします。
この使命を達成するために、全員がたゆまぬ努力と研鑽を積み最高のソリューションを提供するこ
とにより、産業界の発展に寄与します。

Vision

カナデンのビジョン —私たちはどこに行こうとしているのか—

お客様を最も知る
ベストパートナー

私たちは
それぞれの立場でお客様を最も知る企業となることを目指し、
真のエレクトロニクス技術商社としてお客様にトータルメリットを提供できるベストパートナーとし
てかけがえのない存在となり、社会の持続的な発展に寄与します。

Value

カナデンの基本となる価値観・行動指針 —私たちは何を大切に考えるのか—

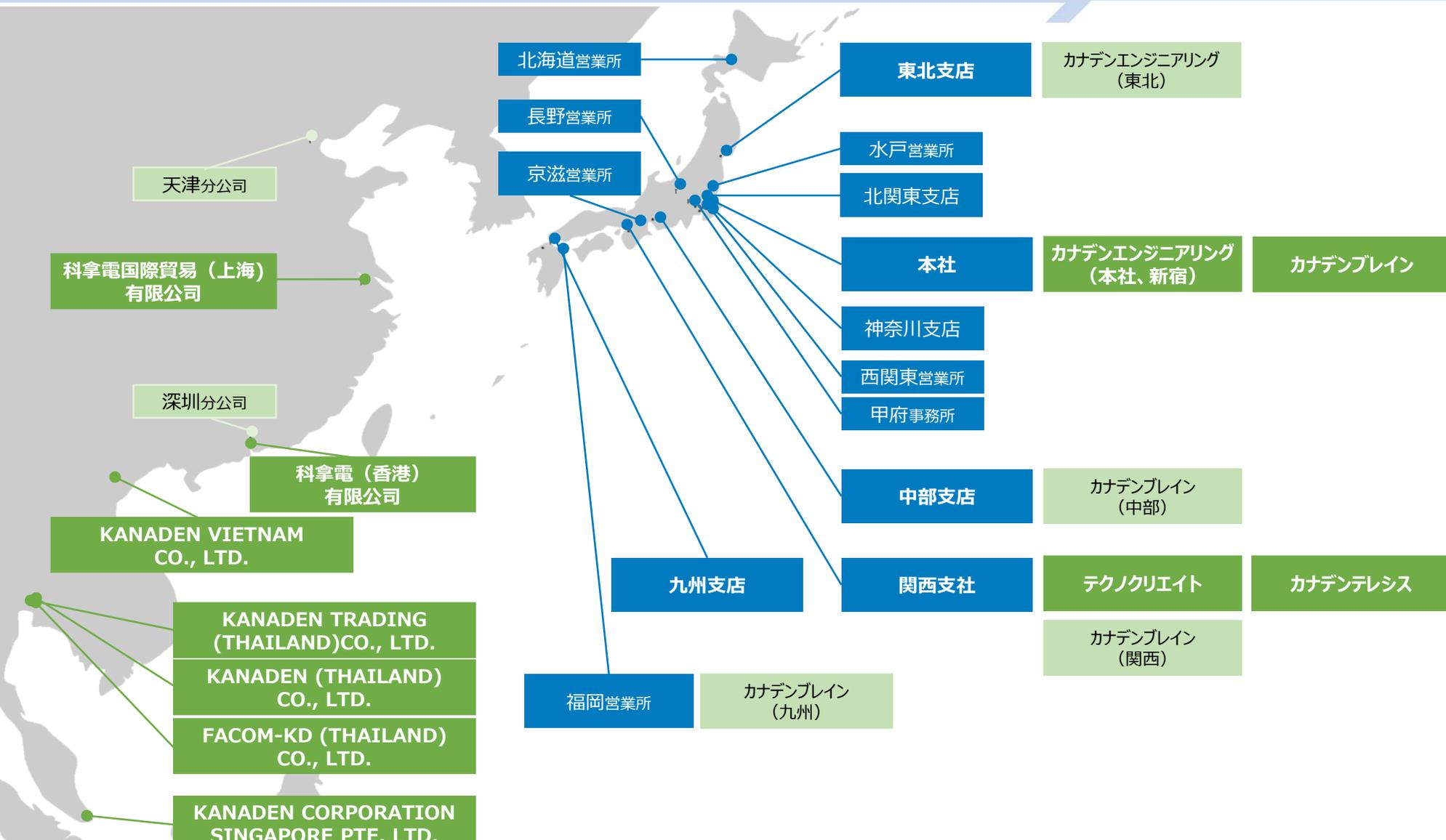
お客様に喜ばれ社会に役立つ

誠実に正道を歩む

挑戦と革新

グループネットワーク

KANADEN



4

情通・デバイス事業

- 半導体・デバイス
- 情報通信

- 情報通信や半導体・デバイス分野に新しい技術を取り入れる
- 部品等の販売にとどまらず、各種ニーズ・課題に対応したセキュリティシステムの構築まで対応

- 公共交通システムや太陽光発電システム、地域防災システムなどの社会システム構築を担う

- 交通
- 社会システム

3

インフラ事業



FAシステム事業



- FA
- 産業メカトロニクス
- 産業システム

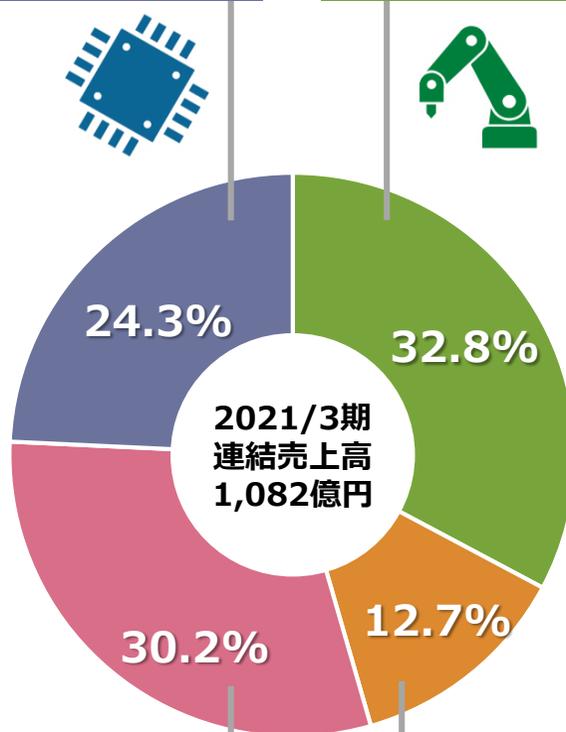
- 工場オートメーション化等を担う
- 当社グループの得意分野であり常に業界をリード

- ビルにテクノロジーを駆使した最新設備を導入
- 昇降機や空調など単体での取引を発展させ、設備全体を管理・監視するシステムづくりへ

- 設備機器
- 空調・冷熱機器

2

ビル設備事業



2. 2022年3月期 第2四半期決算概要

KANADEN

決算サマリー（連結）

KANADEN

	2020年度2Q (百万円)	2021年度2Q (百万円)	増減率 (%)
売上高	47,132	45,001	—
売上総利益 (利益率)	6,220 (13.2%)	6,523 (14.5%)	4.9%
営業利益 (利益率)	716 (1.5%)	838 (1.9%)	17.0%
経常利益 (利益率)	791 (1.7%)	905 (2.0%)	14.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,030	520	△49.5%

- 新型コロナウイルス感染症流行の波が繰り返す中、半導体や各種部材不足、素材の高騰等もあり、製造業全体として引き続き厳しい局面。
- 前期は投資有価証券売却益736百万円があったことから、当期純利益は減益。
- 「収益認識に関する会計基準」の適用により、売上高3,059百万円減少。

① FAシステム事業

	2020年度 2Q (百万円)	2021年度 2Q (百万円)	増減率 (%)
売上高	17,221	17,316	0.6
FA	12,295	12,787	4.0
産業メカトロニクス	1,517	1,337	△11.9
産業システム	3,408	3,191	△6.4
経常利益	519	604	16.3
経常利益率 (%)	3.0	3.5	—



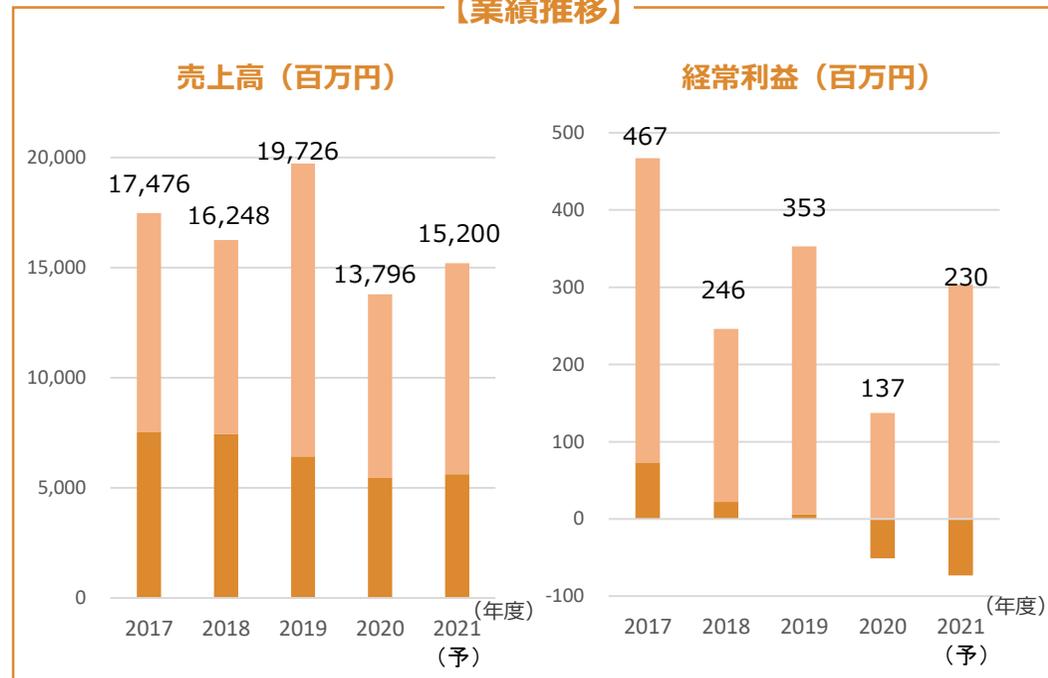
【主なポイント】

- FA分野：中国経済や半導体・液晶市場の急速な回復が牽引し、コントローラを中心に堅調に推移。
- 産業メカトロニクス分野：自動化案件の取り組みにより一般工作機械で成果はあったものの、レーザ加工機等が案件減少。
- 産業システム分野：飲料メーカー向け制御システムの大口案件等があった一方、電気設備大口案件の剥落により減少。

② ビル設備事業

	2020年度 2Q (百万円)	2021年度 2Q (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,473	5,616	2.6
設備機器	2,690	3,008	11.8
空調・冷熱機器	2,783	2,607	△6.3
経常利益	△51	△73	—
経常利益率 (%)	—	—	—

【業績推移】



※グラフの数字は通期の合計数となっております。

【主なポイント】

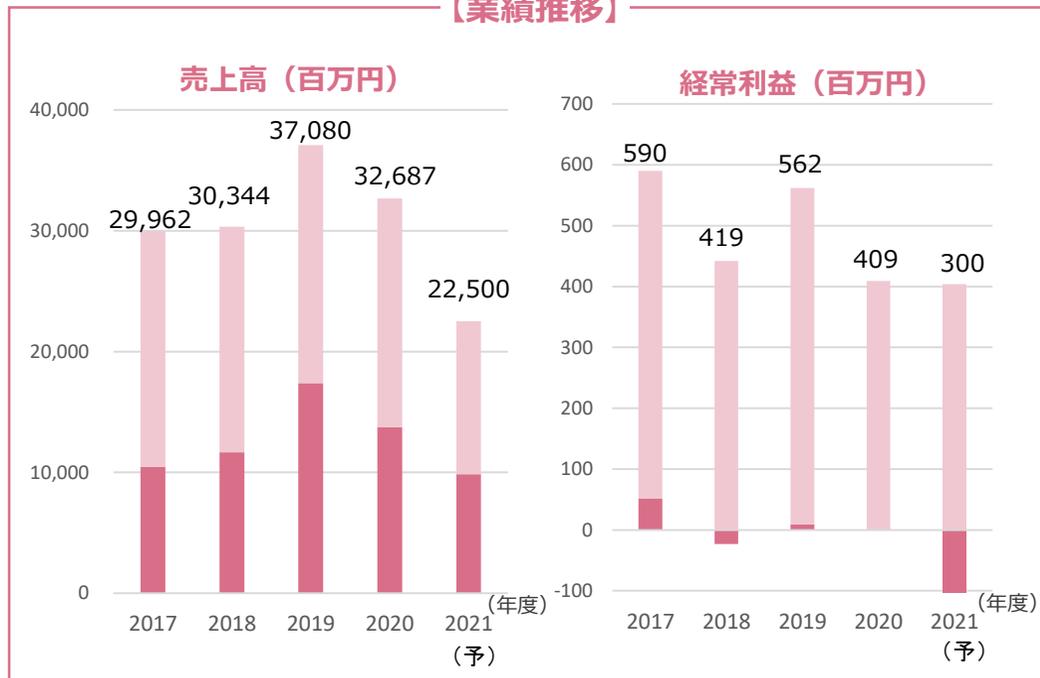
- 設備機器分野：情報・通信事業者向け受変電設備の需要は堅調に推移。
- 空調・冷熱機器分野：低温・住設機器は堅調に推移したが、空調機器は飲食・サービス業向け需要の低迷や、半導体不足による商品供給停止の影響で苦戦。

③ インフラ事業

	2020年度 2Q (百万円)	2021年度 2Q (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,728	9,840	—
交通	11,045	8,332	—
社会システム	2,682	1,507	—
経常利益	1	△104	—
経常利益率 (%)	0.0	—	—

※)2022年3月期の期首より、収益認識に関する基準を適用するため、売上高につきましては、当該会計基準等適用前の実績値に対する増減率を記載しておりません。

【業績推移】



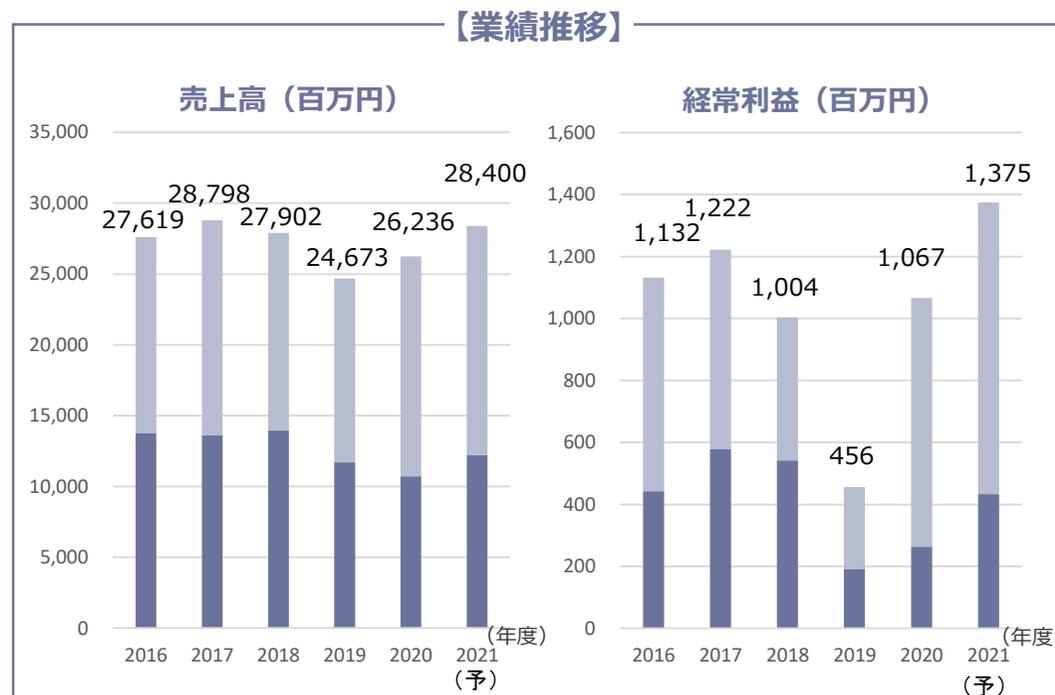
※グラフの数字は通期の合計数となっております。

【主なポイント】

- 交通分野：鉄道事業者向け無線通信機器や情報処理装置は順調に推移したが、設備投資の抑制により車両用機器が低調に推移し減少。
- 社会システム分野：官公庁ビジネスは低調に推移。
- 両分野とも、「収益認識に関する会計基準」の適用により、2,706百万円の売上高減少。

④ 情通・デバイス事業

	2020年度 2Q (百万円)	2021年度 2Q (百万円)	増減率 (%)
売上高	10,709	12,228	14.2
半導体・デバイス	6,693	9,022	34.8
情報通信	4,015	3,206	△20.1
経常利益	263	434	65.2
経常利益率 (%)	2.5	3.6	—



【主なポイント】

- 半導体・デバイス分野：ハードディスクドライブ用ICは、需要増加及び部材逼迫による先行発注に後押しされ順調に推移。
産業用パワーデバイスは、産業機器関連顧客の受注が引き続き好調に推移。
電子デバイス品もOA機器顧客や自動車関連顧客向けで順調に推移。
- 情報通信分野：画像・映像機器が半導体不足による商品供給停止、納期長期化の影響で苦戦。

BSの状況

KANADEN

	2021/3末 (百万円)	2021/9末 (百万円)	増減 (百万円)	主な増減要因（前期末比）
【資産の部】				
流動資産	62,373	53,573	△8,800	現金及び預金の増加+1,012、有価証券の増加+1,499、受取手形、売掛金及び契約資産の減少△11,389
固定資産	14,926	14,710	△215	
有形固定資産	8,950	8,825	△124	
無形固定資産	549	603	53	
投資その他の資産	5,426	5,281	△145	
資産合計	77,299	68,283	△9,016	
【負債の部】				
流動負債	31,415	22,241	△9,174	前受金の増加+1,592、支払手形及び買掛金の減少△9,907、未払法人税等の減少△610
固定負債	1,366	1,310	△56	
負債合計	32,782	23,551	△9,230	
【純資産の部】				
株主資本	42,580	42,661	81	利益の計上+520、配当金の支払△456
その他の包括利益累計額	1,937	2,070	132	
純資産合計	44,517	44,731	214	
負債純資産合計	77,299	68,283	△9,016	

	2020年度 2Q (百万円)	2021年度 2Q (百万円)	主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	△1,547	3,071	前渡金の増加1,142、税金等調整前当期純利益831、前受金の増加1,590、売上債権の減少12,314、仕入債務の減少10,027、法人税等の支払790
投資キャッシュ・フロー	648	△181	有形固定資産の取得による支出31、無形固定資産の取得による支出148
財務キャッシュ・フロー	△544	△458	配当金の支払454
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△22	81	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,466	2,511	
現金及び現金同等物の期首残高	18,962	16,658	
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,495	19,169	

3. 中期経営計画『ES・C2025』の進捗状況

KANADEN

中期経営計画

Electronics Solutions・Company 2025

(2021年度～2025年度)

基本方針

SDGsへの取り組みを通じて、社会課題の解決に貢献し持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となる

- ・ グループ理念「お客様を最も知るベストパートナー」の実践
- ・ 成長性に重きを置いた戦略の実行と、必要な経営資源を積極的に投入する。
- ・ 高付加価値ビジネスを拡大し、収益性の向上を図る。

基本戦略

収益力と事業の継続性・事業基盤と成長力・信頼と信用

- ① 「深化・進化」による競争力の強化
- ② 社会課題の解決を図るため、今後も成長性が高い分野への取り組みを強化
- ③ カナデンDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ④ 多様な人材が能力を十分に発揮できる風土・仕組みづくり
- ⑤ 戦略的投資政策の実行
- ⑥ 公明正大な経営

数値目標（2025年度）

- ・ 営業利益 57億円 営業利益率 4.5%以上
- ・ ROE 8.0%以上
- ・ 戦略的投資等による、売上高100億円の創出

FAシステム

- ・**ソリューション提案力**を強化し、コンポーネントからソリューション、コンサルティングビジネスへの変革を図る。
- ・蓄積した製造現場の知見に加え、**AI・IoT**等の新技術の活用や**自動化**提案によりお客様の課題を解決し、ものづくりの進化に貢献する。
- ・**国内外でのシステム対応力**強化に向け、**パートナー企業との連携強化**を図る。



インフラ

- ・社会インフラとしての「**安心・安全・快適**」を支え、進化させるという使命を果たし続けると共に、交通・公共分野におけるお客様のビジネスモデルの変革に対応し、**従来の領域にとらわれないソリューション**提案の拡大を図る。
- ・気候関連災害や自然災害に備える**監視・防災・減災**ソリューションの提供により社会や産業の基盤強化に貢献する。



ビル設備

- ・ビルマネジメントシステムの展開とZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）提案の強化を図り、環境負荷の低いエネルギー利用の普及を促進し**快適性の向上と消費エネルギーの抑制**を両立させる。
- ・製品、システムの提案から工事、保守サービスを含め**一貫したソリューションの展開**強化



情通・デバイス

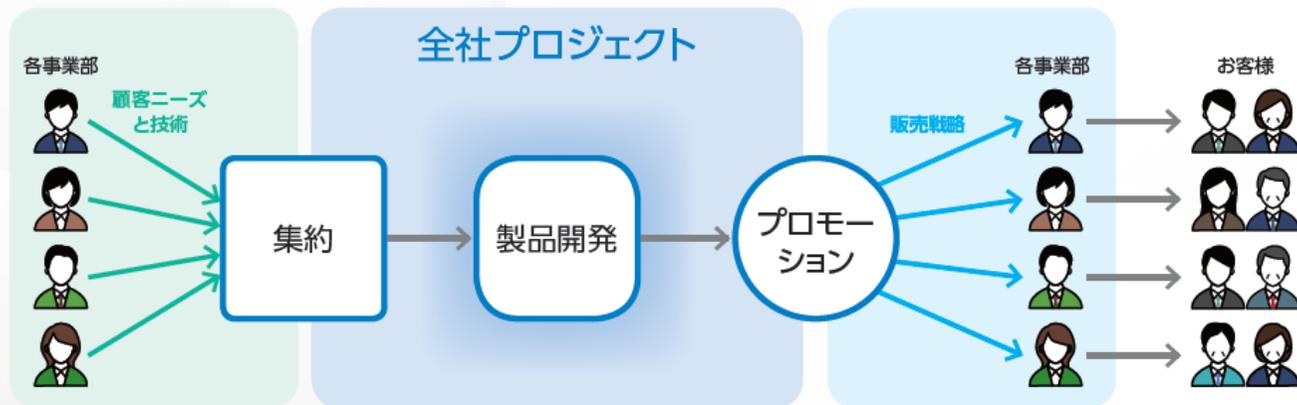
- ・**医療・介護・健康**分野におけるデジタル技術を活用したソリューションの提供推進。
- ・セキュリティビジネスから**トータルICTビジネス**への進化デジタル分野への拡大。
- ・IoTデバイスの進化や5Gの導入による、**データの新たな活用や連携**方法を可能にする商材の発掘、ソリューションの構築を目指す。
- ・**自動車分野**への参入加速。



● 深化・進化による競争力強化ーオリジナルソリューションを企画・提供

● 全社プロジェクトによる新たなソリューションの開発

各事業部の顧客ニーズと技術を集約し、プロジェクトによる当社オリジナルソリューションを創出



当社オリジナルプラットフォーム

当社オリジナル製品

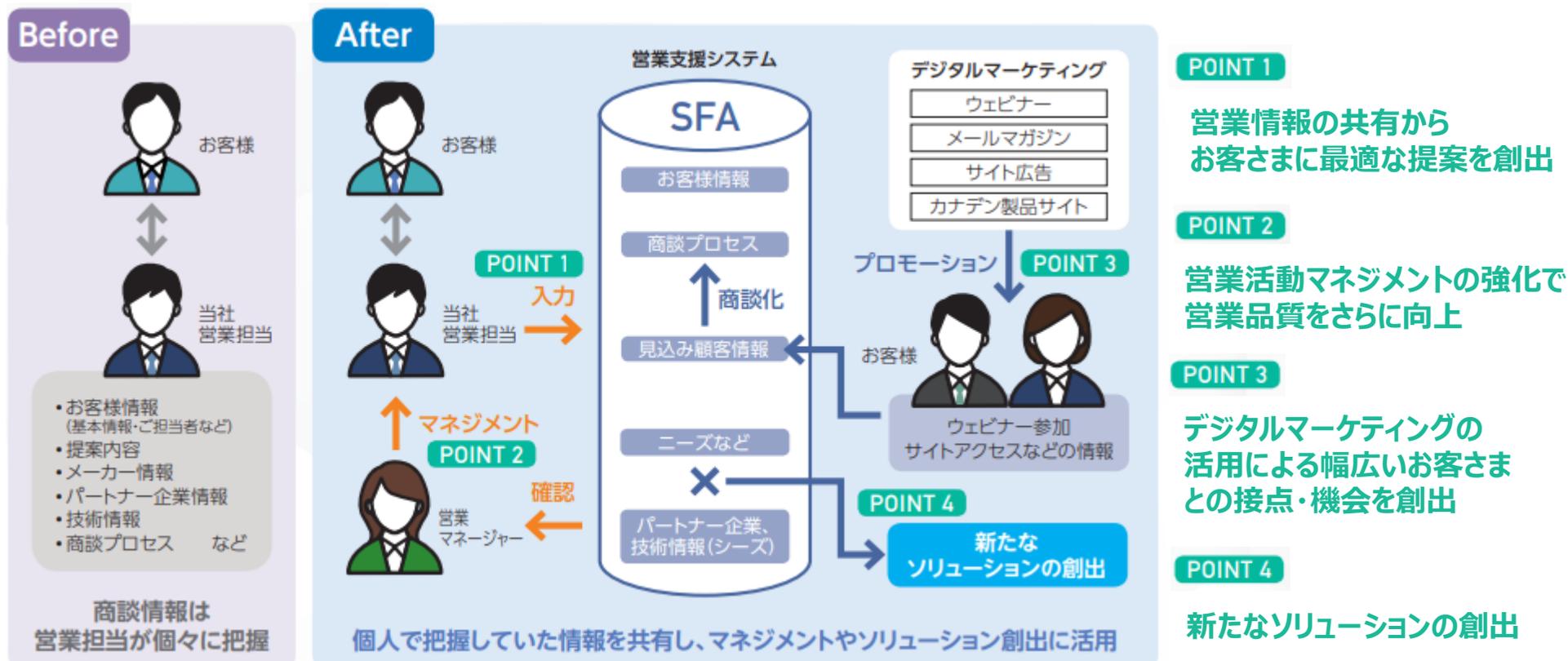
映像トランスフォーメーション「FAtis(フェイス)」顔認証付き体表面温度測定 & アルコール検知システム



● カナデンDXの推進－蓄積してきた情報資産を最大限に活用

● 営業支援ツールの導入（2021年4月）

営業担当の個々のお客様情報を全社共有することで、組織的な営業品質の向上と戦略的かつスピーディなソリューションを創出



● カナデンDXの推進－提案内容の高度化・品質向上につなげる

● 製品サイトの立上げ（2021年11月）

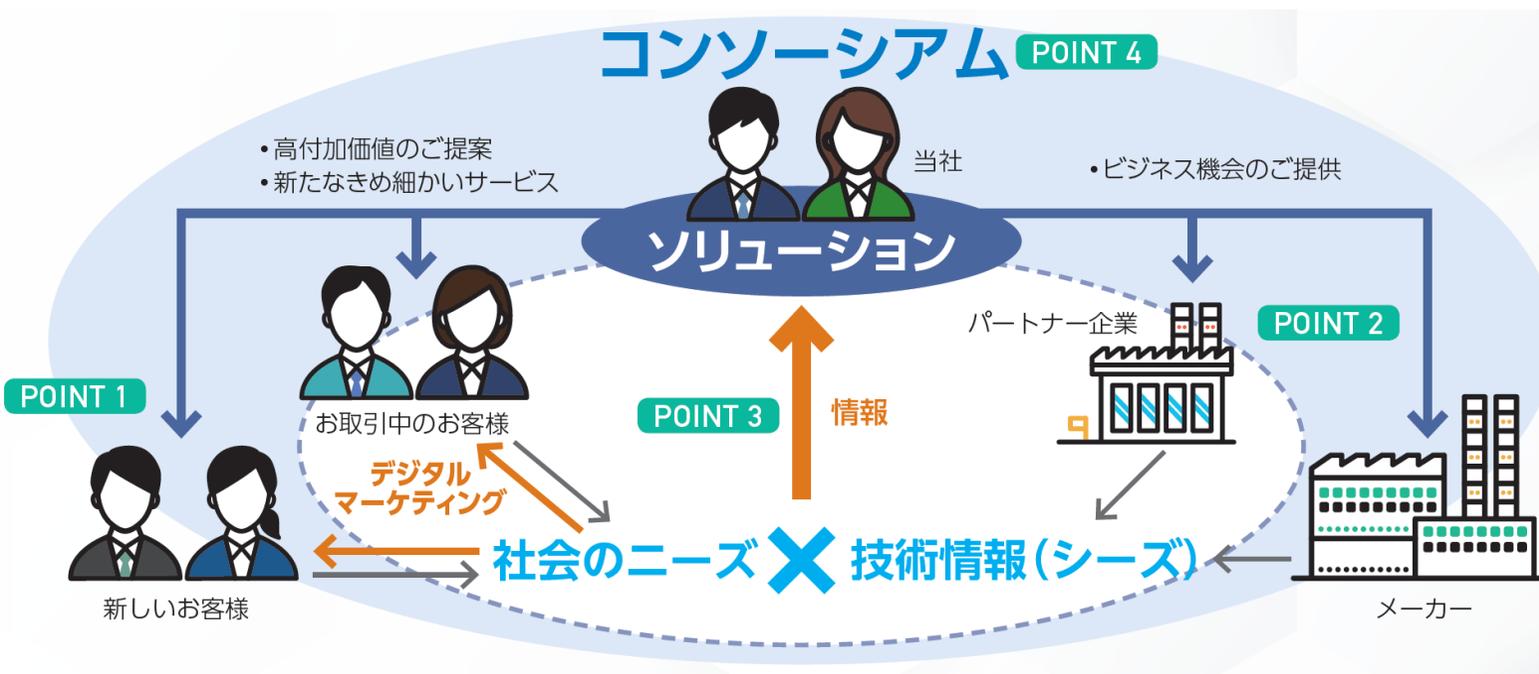
掲載220社、掲載製品550製品を掲載し、「カタログダウンロード」や「動画説明」により取り扱い製品をより分かりやすく紹介することで、顧客満足度向上を目指します。



● カナデンDXの推進－企業間コミュニティを活性化するコンソーシアムの形成

● コンソーシアムの形成構想

社会のニーズと技術のシーズを当社がマッチングさせ、お客様、メーカ、パートナー企業が参画できるコンソーシアムを形成します。



POINT 1

広くお客様からのニーズを集約します

POINT 2

課題を解決できる最新の技術を集約します

POINT 3

ソリューションを創出し、ステークホルダーの企業価値向上に貢献します

POINT 4

社会課題の解決、産業界の発展に寄与します

4. 2022年3月期 業績・配当予想

KANADEN

2022年3月期 業績・配当予想

KANADEN

	2021/3期 【実績】 (百万円)	2022/3期 【予想】 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	108,229	107,000	--
営業利益	2,672	3,600	34.7%
経常利益	2,819	3,600	27.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,319	2,400	3.5%

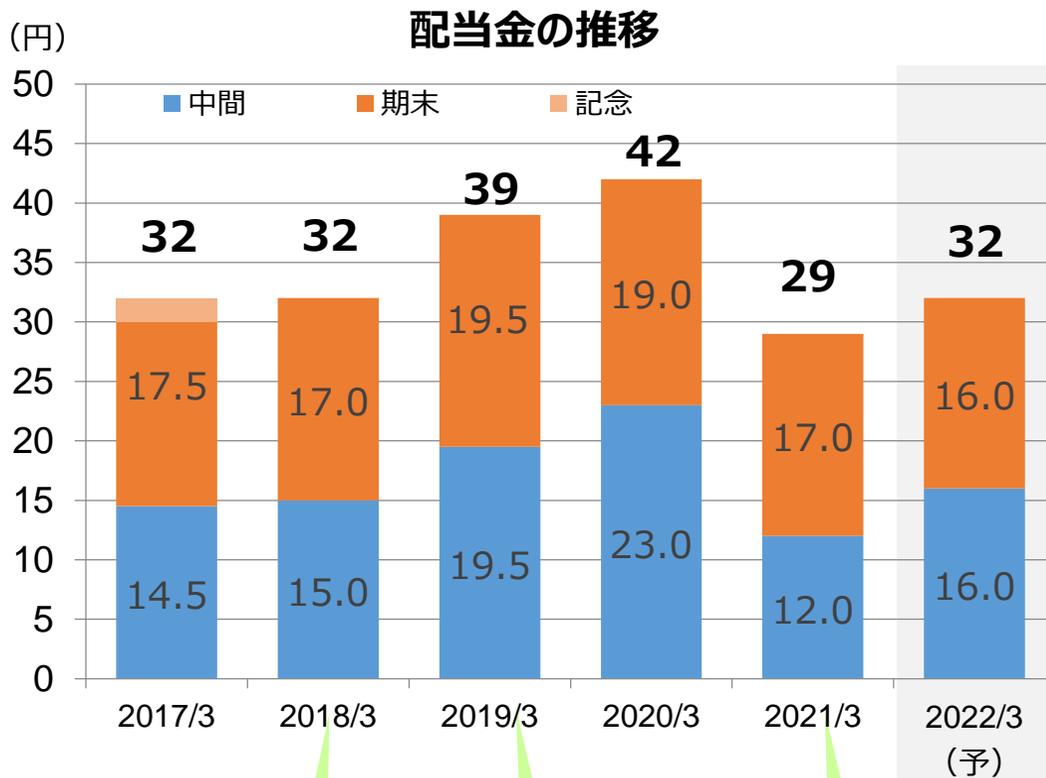
※2022年3月期の期首より「収益認識に関する基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高につきましては、当該会計基準等適用前の実績値に対する増減率を記載しておりません。

1株あたり配当金	29円	32円	3円
----------	-----	-----	----

2022年3月期 セグメント別予想

KANADEN

		2021/3期 【実績】 (百万円)	2022/3期 【予想】 (百万円)	前期比 増減率 (%)
FAシステム	売上高	35,508	40,900	15.2%
	経常利益	1,064	2,045	92.2%
半導体・液晶装置の需要回復、自動化需要の掘り起こしによる回復				
ビル設備	売上高	13,796	15,200	10.2%
	経常利益	137	230	67.9%
情報・通信事業者の設備投資が継続し電源設備の回復するも、空調機器は供給不足が懸念				
インフラ	売上高	32,687	22,500	—
	経常利益	409	300	△26.7%
設備投資抑制により引続き厳しい環境が継続				
情通・デバイス	売上高	26,236	28,400	8.2%
	経常利益	1,067	1,375	28.9%
産業機器関連の需要が好調持続、画像・映像機器をはじめ堅調維持				



【基本的な株主還元方針】

堅実性と成長性を併せ持った「健全経営」を確実に推し進めていくため、将来の事業展開と企業体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ

- 配当性向は35%
- 収益状況に応じた適正な利益還元を基本方針としております。

配当性向	32.8%	30.2%	35.4%	35.0%	35.0%	35.8%
期末発行済株式数 (自己株式を除く)	3,014 万株	2,964 万株	2,848 万株	2,850 万株	2,682 万株	--

自己株式取得
50万株

自己株式取得
118万株
自己株式消却
171万株

自己株式取得
170万株

資本効率の向上を図るとともに、株主の皆様への利益還元の充実を図るため、適宜自己株式の取得・消却を実施

エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー

KANADEN